

# 学報

特集  
聖灯祭・ホームカミングデー

2010.12.20

VOL. 36

聖書のこぼれ 1P  
研究助成 5P  
私の教育・研究 6P  
保健福祉実践開発研究センター 7P

クリストファーニュース 8P  
後援会から 9P  
お知らせ 10P

学報

VOL. 36

2010.12.20

学報

発行所 聖隷クリストファー大学

〒433-8558 静岡県浜松市北区三万原町3453 TEL:053-439-1400 FAX:053-439-1406 http://www.seirei.ac.jp



## Campus Life - 秋 -

木の葉も色づくこの季節、  
大学では聖灯祭、ホームカミングデーなど  
さまざまなイベントを開催しました。  
楽しいイベントを終えた学生たちは今、  
臨床実習や国家試験の勉強など  
忙しい日々を過ごしています。



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学



**GAKUYUKAI**  
学友会から

一緒に頑張りましょう!

※QOL委員会…学友会の最高執行機関。  
(1)学友会の基本方針・活動方針の作成  
及び遂行、(2)予算案の作成及び決算、  
(3)諸活動の企画・運営、(4)本会に属する  
委員の選出、各機関の活動統括、(5)その  
他総会の決議に基づき必要とされる事項の  
審議を行う。QOL=Quality of Life

私たちQOL委員会※は学友会  
の代表であり、学友会は聖隷クリス  
トファー大学の学生全員で構成され  
る自治組織です。  
今年度の学友会は、先輩たちが  
築きあげてくださった伝統を守り、  
学生一人一人のキャンパスライフが充  
実するように、活動していきたいと  
思います。特に、学友会主催の特別  
行事をより充実させ、多くの学生が  
楽しめるように考えていきたいと  
思っています。  
特別行事は主に、球技大会、聖灯  
祭、クリスマス祝会などがあります。  
行事の準備では、会長・副会長を中  
心に学友会メンバー全員で話し合い  
を行ったり、学生に事前アンケート  
を行って意見を聞いたりして計画を  
立てています。また、親しみやすい学  
友会にすることも今年度の目標と  
しています。多くの学生と関わり、  
意見を取り入れることで、行事への  
参加も増え、三学部の交流を深め  
ることにより、大学生生活の楽しい思  
い出になると思います。  
よりよい大学にしていくなめには、  
私たち学友会役員だけでなく、全  
学生の力が必要となります。今年  
度も精一杯努力していきますので、  
ご協力お願いいたします。

学友会会長 青山 莉沙  
看護学部2年次生



10月23日  
球技大会の様子

●2010年度学友会役員 ※任期/2011年3月31日まで

学友会役員	学年	氏名
会長	2年次生	青山 莉沙
副会長	2年次生	加藤 貴俊
副会長	2年次生	板倉 かりん
副会長	2年次生	金原 裕美
会計	2年次生	坂田 紗季
会計	2年次生	野崎 孝明
会計	2年次生	山田 一輝
書記	2年次生	松下 昌平
クラブ	2年次生	鈴木 麻友
クラブ	2年次生	小野 泰士
キャンパス	2年次生	石田 理香
キャンパス	2年次生	高田 美依
広報	2年次生	斎藤 香純
監査	2年次生	木原 重紀

### 「ソーシャルワーク協働の思想 “クリネー” から “トポス” へ」

佐々木 敏明 著 社会福祉学部 教授

柏木昭(聖学院大学名誉教授)  
荒田寛(龍谷大学教授)共著  
2010年5月/へるす出版

目次

- 1-1 アイデンティティ拡散の危機(佐々木 敏明)
- 1-2 「協働」の思想、ソーシャルワークに帰れ(柏木 昭×佐々木 敏明)
- 1-3 トポス、の創造とソーシャルワーカー(柏木 昭)
- 1-4 ソーシャルワーカーの権威性(柏木 昭)
- 1-5 スーパービジョン論(佐々木 敏明)
- II 解題に代えて(荒田 寛)
- III



本書は、日本精神保健福祉  
士協会の静岡県支部が全国大  
会を開催するために「日本の精  
神科ソーシャルワーカーの歩みと専門性を共有し  
てから、準備に取りかかろう」という会員の願  
いから企画された協会名誉会長の柏木昭氏と  
私の対談「1-2 協働の思想、ソーシャルワークに  
帰れが柱となっている。これに前後して開催さ  
れた柏木氏と私の全国大会における基調講演、  
「1-3 トポスの創造とソーシャルワーカー」と「I  
-1 アイデンティティ拡散の危機」を加え、さらに、関  
連論考と協会相談役の荒田寛氏による解題を  
併載して誕生した。戦後アメリカから導入され  
た精神科ソーシャルワーカーが精神保健福祉士  
として国家資格化され、実践の領域が拡大して  
いる現在、改めて本書がその専門性を確認し、こ  
れから進む方向性を考える手がかりのひとつと  
してお読みいただければ幸いです。

学報 アンケート

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。  
大学報へのご意見・ご感想をお寄せ下さい  
ご協力お願い申し上げます ▶ <http://blg.seirei.ac.jp/d/>





# さまざまな保健医療福祉の 専門職者である キャリアサポーターと語ろう

今回ホームカミングデーのイベントのひとつであった「キャリアサポーターと語ろう」では、多くの卒業生から保健医療福祉の専門職を目指している後輩たちへ現在の仕事の話やアドバイスをいただくことができました。ここでその一部をご紹介します。

## 看護系

●いつの時代にも看護師という職業は需要が高く、生涯続けられる仕事である。  
●病院だけでなく、福祉施設などでも介護福祉士などと一緒に働くこともあり、多職種間での連携は必須である。  
●学生時代にはいろいろな経験をしてほしいと思う。  
●訪問看護ステーションや地域包括支援センターで働くことにより、地域の方々と密接に関係を持つことができたり、患者さんがいかに生活を維持できるようにするかを考えたり、ご家族や患者さんご本人の本音を聞きながら支援できる。  
●養護教諭として働いている経験から看護師免許を取得してよかったと思っている。また、生徒には病気や怪我以上に「健康であることの大切さ」を伝えたり、心の健康に重点を置いている。  
●看護学部にも男子学生が増えているが、性別に関係なく「しっかり看護ができること」が一番大切である。  
●助産師1年目の経験から、まだ一人では何もできない状態であり、何をしているかどこに立っているのかわからなくなることがあるが、お産の現場に立つとこの仕事につけたことの喜びを感じる。  
出席した在学生たちは、さまざまな看護分野で活躍する先輩たちの話をとても熱心に聞いていました。コーナー終了後にも積極的に質問をしている姿が印象的でした。



司会/看護学部 入江晶子准教授

### ●看護系/ご出席者 ※卒業年度順

お名前	卒業学校	卒業年度
大森ゆみ子さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1970
木村忠雄さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1977
川島扶美子さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1980
安國佳世子さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1983
吉田光徳さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1990
山本桂子さん	聖隷学園浜松衛生短期大学 第二衛生看護学科	1990
矢吹淑恵さん	聖隷クリストファー看護大学看護学部	1995
佐藤泉さん	聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科	2002
青山亜佐美さん	聖隷クリストファー大学 助産学専攻科	2009
手面育慧さん	聖隷クリストファー大学 助産学専攻科	2009



大森さん 左から安國さん、川島さん、山本さん、木村さん



吉田さん 佐藤さん 山本さん(左)と看護学部3年次生の曾根さん



青山さん(右)と看護学部3年次生の田淵さん、手面さん

## リハビリテーション系

●大学院への進学を考えている在学生さん多いと思いますが、大学院に通いながら仕事をする場合は、限られた時間で患者さんどう対応し、どこまで効果を上げられるかということが求められる。  
●実習生を指導するようになり、実習生には自分自身で考えたり、どんどん質問してほしいといったように考えるようになった。  
●就職してからはやりがいと共に責任の重さを感じるようになった。  
こちらのブースには約30名の在学生が参加しました。和やかな雰囲気の中、キャリアサポーターのみなさんは在学生からのたくさんの質問に答えました。



司会/リハビリテーション学部 大城昌平教授

### ●リハビリテーション系/ご出席者 ※卒業年度順

お名前	卒業学校	卒業年度
竹内真太さん	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法専攻	2007
小橋達治さん	聖隷クリストファー大学大学院 リハビリテーション科学研究科	2009
北野貴之さん	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法専攻	2009
小松洋亮さん	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法専攻	2009
杉山大祐さん	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法専攻	2009
鈴木章雄さん	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 理学療法専攻	2009



左から小松さん、杉山さん 左から竹内さん、北野さん、鈴木さん、小橋さん 熱心に話を聞く在学生

### ●社会福祉系/ご出席者 ※卒業年度順

お名前	卒業学校	卒業年度
秋葉聡さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 社会福祉専攻	2005
岡本直也さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 社会福祉専攻	2005
西尾崇嗣さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 社会福祉専攻	2005
鈴木良輔さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 社会福祉専攻	2006
坪井彩実さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 介護福祉専攻	2006
江間亮太さん	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 社会福祉専攻	2007



鈴木さん 左から西尾さん、岡本さん 江間さん



大場准教授と社会福祉学部3年次生の川住さん(中央)と山田さん(左) 左から坪井さん、秋葉さん、佐々木学部長

## 社会福祉系

●国家試験について、就職してから資格を取ろうとする時間的な制約や熱意が冷めたりしやすいということもあるため、在学中に資格を取ることや試験対策の開始時期はとても重要である。  
●就職先を決めるにあたって、自分は何をしたいのか自己分析をすることが大切。  
●学生時代に行った国際福祉実習でのインドの経験が「将来は世界の貧しい人々の手助けをしたい」といった夢となった。  
キャリアサポーター全員から後輩たちに「働くということは何をすることも大変。自分にとっての“プラス”を一つでも見つけることが出来れば続けられると思います。頑張ってください」とエールが送られました。



司会/社会福祉学部 大場義貴准教授

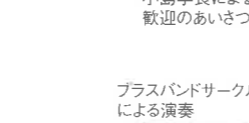
# 「特集」初の同日開催 聖灯祭・ホームカミングデー

2010年11月6日(土)、聖灯祭とホームカミングデーを開催しました。在学生、卒業生、教職員のみならず、お子様からご年配の方まで、大勢の地域の皆様にご来学いただき、例年以上の盛り上がりを見せた一日となりました。

## ホームカミングデー



小島学長による歓迎のあいさつ



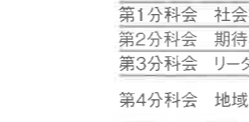
バンドサークルによる演奏



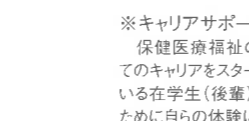
交流会(看護系)



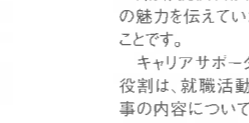
交流会(看護系)



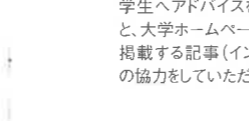
交流会(看護系)



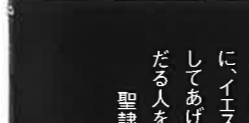
交流会(看護系)



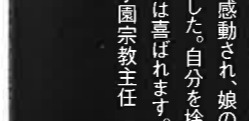
交流会(看護系)



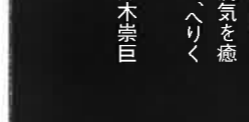
交流会(看護系)



交流会(看護系)



交流会(看護系)



交流会(看護系)

多くの卒業生をホームカミングデーに迎え、ファンファーレに続き、教職員を代表して小島操子学長から歓迎のあいさつがなされました。ウェルカムセレモニーでは、卒業生の実行委員長のあいさつ、キャリアサポーターの紹介、在学生のバンドサークルによる演奏が行われました。ホームカミングデーは、卒業生の皆様に仕事や研究・研修の拠り所として、また保健医療福祉の最新情報や人材情報の交換拠点として、母校を活用していただくことを願って開催しております。4回目の今年は、卒業生の皆様に母校に戻り本学の様子を知っていただきたい、同窓生や先輩後輩と旧交を温め、また教職員と交流していただく会にすることを考え、初めて聖灯祭と同日開催いたしました。

1970年度に「聖隷学園浜松衛生短期大学」を卒業した最初の卒業生をはじめとして302名をお迎えすることができました。

リハビリテーション系の勉強会は、症例検討会や現在の職場・仕事の話や勉強方法などについての講演がされました。社会福祉系の勉強会は、下記のテーマで分科会方式による講義と意見交換会を行いました。

テーマ	講師
第1分科会 社会福祉の動向とこれからの福祉専門職	佐々木敏明 教授
第2分科会 期待される介護福祉専門家を目指して	中村裕子 教授
第3分科会 リーダーシップとスーパービジョン	志村健一 教授
第4分科会 地域とのかかわりをどう築くか	大場義貴 准教授 佐藤順子 准教授

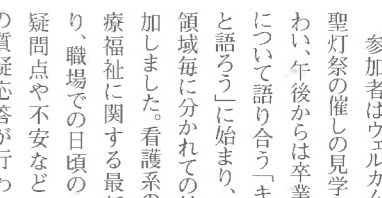
※キャリアサポーターとは  
保健医療福祉の専門職者としてのキャリアをスタートさせようとしている在学生(後輩)の就職支援のために自らの体験に基づくアドバイス、情報提供、職業や現在の職場の魅力や伝えていただく卒業生のことです。

キャリアサポーターの具体的な役割は、就職活動の体験談や仕事の内容についてのお話をさせていただくこと、就職懇談会において在学生へアドバイスをしていただくこと、大学ホームページ、印刷物等に掲載する記事(インタビュー等)への協力をいただくことなどです。

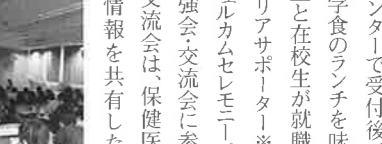
来年のホームカミングデーは2011年11月5日(土)です。



受付では卒業生実務委員、卒業生教職員が歓迎しました。



交流会(看護系)



交流会(看護系)



交流会(看護系)



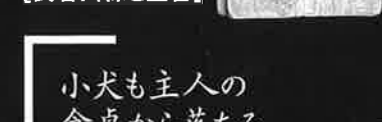
交流会(看護系)



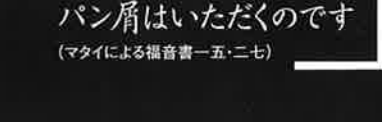
交流会(看護系)



交流会(看護系)



交流会(看護系)



交流会(看護系)

参加者はウェルカムセンターで受付後、聖灯祭の催しの見学や学食のランチを味わい、午後からは卒業生と在校生が就職について語り合う「キャリアサポーター」と語り合う「ウェルカムセレモニー」領域毎に分かれての勉強会・交流会に参加しました。看護系の交流会は、保健医療福祉に関する最新情報を共有したり、職場での日頃の疑問点や不安などの質疑応答が行われました。同窓生、先輩、後輩と旧交を温めながら和やかな時間となりました。

シリーズ  
聖書のことは  
【長谷川保と聖書】

隣に住む他民族とはお互いに交流もなく敵対心があつた時代のこと、ユダヤ人イエスはユダヤ人の間でのみ活動していましたが、イエスは人類の「救い主」でしたが、まだそのような開かれた考え方が受け入れられない時代でしたので、イエスはユダヤ人の間でのみ活動してました。

そのような背景の下、他民族の一人の女性が、自分の娘が死にそうだから癒してくれと必死にイエスに頼み込みました。

イエスは「ユダヤ民族の救いが先です」という意味で「今はわが子であるユダヤ人のために私は働いてます。小犬の時代はまだです。」と言いました。女性は「小犬にたとえることは失礼なことでした。もちろんその女性の本心をさぐるためでした。その女性は「小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくことができるではありませんか。」と切り返しました。

馬鹿にされてもなおおへりくだり、娘の癒しを懇願するこの女性の心に、イエスは感動され、娘の病気を癒してあげました。自分を捨てるへりくだる人を神は喜ばれます。

聖隷学園宗教授任 鈴木宗巨

小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです  
(マタイによる福音書一五・二七)



在学生に  
聞きました!

# あなたの夢はなんですか?



5年後・10年後、  
あなたが理想とする  
自分の姿を  
教えてください。

保健医療福祉の専門職を目指す学生たちへ  
学部長からのメッセージ

## 夢実現のために今、心がけるべきことは何ですか?

看護学部  
渡邊順子 学部長



夢は語り続けると叶うと、私は信じています。夢を実現させるためには、一歩踏み出す勇気とどんなときも笑顔を忘れない心意気が大切です。そして、もっと大事なことは人々の健康と生活を守る専門職として、自分自身の健康と生活を守ることです。

リハビリテーション学部  
小川恵子 学部長



一言で言うと、とても難しいですが、夢実現のために「ふわふわ」と途方もなく掴みどころのないものを追う前に、着実に先ず足元を固めるべきと思っています。

社会福祉学部  
佐々木敏明 学部長



夢実現のために、あなたに2つの格言を贈ります。  
・才能とは、夢を見続ける力のことである。(作者不詳)  
・君がどんなに遠い夢を見ても、君自身が可能性を信じる限り、それは手の届くところにある。(ヘルマン・ヘッセ)

## 健康祭



看護学部:血圧測定  
看護学部:HIVについて学ぶコーナー



リハビリテーション学部理学療法専攻:体力測定  
リハビリテーション学部作業療法専攻:革細工作り体験



社会福祉学部:高齢者体験スーツの試着  
社会福祉学部:脳卒中患者の視線を記録したVTRの上映

## 模擬店



学生会役員OB・OGによる駄菓子屋さん  
看護学部4年有志によるフェアトレードショップ



ボランティアサークルTOLO (ベトナムプリンとどら焼き風ホットケーキ)  
近隣施設の出店によるフリーマーケット

## 「聖灯祭実行委員長より」

リハビリテーション学部 2年次生 石田 武希  
看護学部 2年次生 増田絵美理  
聖灯祭実行委員会の活動を振り返ると、今年の聖灯祭は早め早めの準備をすることに専念していたと感じています。特に予算の各部門への割り当て、宣伝・広報関係は春semesterに入ってすぐに動きました。ポスター・パンフレット以外に新しくチラシを作成し、各方面へ配ることができ、宣伝することができました。また今年、初の「ホームカミングデー同時開催」ということで、よりいっそう宣伝に力を入れました。また当日のスケジュールの作成も早く行いました。それが、開催へのスムーズな流れにつながったと思います。

当日は、特に大きなアクシデントも起きずに無事に進行し、例年通り成功して終了できました。ご来場くださったお客様、ホームカミングデーにいられた退職された先生方、卒業生の皆様いろいろな場面で楽しんでいただけたのではないかと思います。この成功は決して委員長だけのものではなく、各部門の実行委員、学生会、各学部生、サークル、教職員の皆様の協力があったものです。本当にありがとうございました。このメンバーで聖灯祭を行ってとてもよかったです。

最後に、1年の中で大学として大きな行事のひとつである聖灯祭の委員長という大きな仕事に就けたことをとても誇りに思います。これからのいろいろなことがあると思いますがこの経験を生かしてどんどん乗り越えていきたいと思います。



実行委員長の石田くん(右)と増田さん(左)



聖灯祭実行委員会メンバー

社会福祉学部の子育て広場たっくんでは0才～未就園児を対象としたお楽しみ企画「歯ミガキきらいな子あつまれ〜!!」を開催しました。静岡県歯科衛生士会による歯のお話の他、遊びの玉手箱さんによるブラックアターや社会福祉学部の学生によるダンスなどが披露されました。



宝石箱展では、高齢者・障がい者の絵画展示のほか、来場者の方に自由に水彩画を楽しんでいただくコーナーを設けました。



男子学生による女装コンテストも大盛況でした。またお笑いトークショーには、ごまつ、弾丸ジャッキー、みっちーさんを迎え、にぎやかな一日を過ごしました。今年は、初のホームカミングデーの同日開催の結果、卒業生、在学生、保護者や地域の方々などの間で様々な交流ができました。

# 聖灯祭

聖灯祭の今年のテーマは  
「彩(いろどり)~iroiro~」

サブテーマにちなんで、それぞれの「いろいろ」な個性を生かして、地域の方々、高齢者の方々など来場された皆さんに楽しんでいただくことを目指しました。

## サークル発表



バンドサークルによる演奏  
琴部の演奏



茶道部のお茶会  
軽音楽部の演奏

## その他のイベント



宝石箱展では、高齢者・障がい者の絵画展示のほか、来場者の方に自由に水彩画を楽しんでいただくコーナーを設けました。



男子学生による女装コンテストも大盛況でした。またお笑いトークショーには、ごまつ、弾丸ジャッキー、みっちーさんを迎え、にぎやかな一日を過ごしました。今年は、初のホームカミングデーの同日開催の結果、卒業生、在学生、保護者や地域の方々などの間で様々な交流ができました。



介護福祉教育の大切さを伝えて16年

中村裕子 社会福祉学部 教授



最終学歴：東京大学医学系大学院国際保健学科博士課程修了(保健学修士、医学博士)
所属学会：日本介護福祉学会(理事)、日本介護福祉教育学会、日本神経学会、日本国際保健医療学会、米国神経学会(AAN)(フェロー)、他
研究テーマ：認知症の介護、介護福祉教育の国際比較、高次脳機能障害と生活支援、臨床倫理

介護福祉士の養成教育に携わる契機となったのは、今から16年前の前任校への赴任でした。それまでは、医学部で高次脳機能障害の患者さんを中心に臨床研究に励み、医学博士号は病態生理学で取得し、特許3件を取得しました。米国へは2回留学し、一度目は認知症(当時は痴呆)の診断技術と日常生活指導の基礎となる「行動神経学」を学ぶためでした。二度目は、思考・行動面に障害をもつ人の尊厳や権利擁護に関わる「生命(臨床)倫理学」を学ぶためでした。米国で学んだ経験は、今になって「層重みを増し、指導を引き受けて下さったベンソン教授やウィッチ教授、そして研究室の全員に改めて心から感謝することの頃です。指導法がしっかりしていることの大切さを、わが身を通して知ることができました。幅広く他者や他分野の考えを受け入れる姿勢も育てて頂きました。もし米国での学びが無かったら、介護福祉士の養成教育に携わることもなかったかもしれません。恐らく介護の大切さも介護専門職の養成教育における神経学の役割も気付くこ

とは無かったように思われます。1981年私が訪れた米国では、診断技術のマニュアル化が進められており、それに基づき生活指導やリハビリテーションが具体的に実施され、家族指導も行われていました。日本に帰った時に、少しでも患者さんや家族を楽にできたらという思いから、私は夢中で勉強しました。英文で論文を書くことの大切さを知り、毎日研究室の仲間やベンソン教授のもとに持参して書き直し覚えたのもこの頃です。「日本人なのに、どうして米語で書きたいの？」と聞かれ「世界中の人に自分の考えを伝えたいから」と答えた頃が、懐かしく思い出されます。
帰国後日本の現状と向き合う中で、私は認知症の患者さんに対する生活支援や精神疾患的障害児者に対する生活環境づくりが必要なることに気付きました。行動や思考の異常を検出し説明するための仕事に留まるだけでなく、患者さん方に毎日幸せに暮らして頂くための支援が、医療的治療と同様に大切であることに気付かされました。米国で学んだ理論や技術を要介護者の症状の理解や生活支援のために活用することを始めて16年余が過ぎました。
ここ数年は大きな手ごたえを感じ、介護現場で働く方々に喜んで頂いております。来々春には4年に1度開催される日本医学会総会のシンポジウムで発表させて頂くことになりました。本学で学生さん方と一緒に学ぶ機会を通して、夢を抱いて挑戦し続けることの大切さを、自分の人生を通して伝えたいと考えております。学生さん方一人一人が幸せな人生を送るためには、まず、自分自身が他者を幸せにすることができる人々に成長せねばなりません。そのような力を養って頂くために、私も精一杯学生さん方と共に歩み続けたいと考えております。

師との出会い

大城昌平 リハビリテーション学部 教授



最終学歴：長崎大学医学研究科修了(医学博士)
所属学会：日本理学療法士学会、日本リハビリテーション医学会、日本小児神経学会、日本周産期・新生児学会、他
研究テーマ：新生児・早産児の脳と心の発達

本原稿の執筆中の昨日、鈴木章氏(北海道大学名誉教授)と根岸英氏(米ハバード大学特別教授)のお二人がノーベル化学賞を受賞されるというビッグニュースが報じられ、私たちに大きな喜びをもたらすとともに、世界に我が国の科学レベルの高さを示しました。両氏とも、米ハバード大学に留学され、ハーバード・グラウン博士(79年ノーベル化学賞受賞)に師事した門下生で、この師との出会いと長年にわたる研究が今回の受賞に結びついたと思われま。鈴木氏の研究上の信条は、その師から受け継がれた「教科書に載るような研究をする」ということと、「重箱の隅をほじくするような研究だけはするな」ということだと言われました。本学からも、社会に役立つ研究成果を発信していきたいと思っております。
私の研究テーマは、「新生児・早産児の脳と心の発達支援」です。そのきっかけは、1986年から2004年まで勤務した長崎大学医学部附属病院での穂山富太郎教授(現名誉教授)との出会いです。その当時

は、発達障がいを持つ子どもとご家族に、生まれて早い時期から治療や教育(早期介入や早期療育といいますが)をおこなうことの重要性が言われた頃でした。しかしながら、当時の私(日本でもは、早産児や生まれたばかりの赤ちゃんをどのように評価・治療すれば良いのか、知識や技術を持ち合わせていませんでした。その時に、穂山教授から受けた指導が、私の進路を決めることになりました。学生・院生の皆さんには是非、師となる先生方との出会いを大切にしてもらいたいと思います。
そして、1988年にはハーバード大学(米・ボストン)のブラゼルトン発達研究所に留学する機会を得ました。そこでは、赤ちゃんの神経行動発達とその評価、治療介入について学びました。このときに指導頂いたブラゼルトン先生はじめ、多くの方々との出会いが、現在の私の教育・研究の基礎となり、社会活動への広がりにつながっています。学生・院生の皆さんにも海外に目を向けて、世界の人々との交流を図ってもらいたいと思っております。
私の座右の銘にしているものに、「個性も自我も没却して仕事に献身することが、その仕事の達成を通じて永遠の個性ある自我を生かす道である」というマックスフェーバー(職業としての学問)岩波書店の言葉があります。私のこれまでの過程は、幸運にも多くの素晴らしい師との出会いによって支えられてきました。そのことが、与えられた仕事に貢献することの大切さと喜びを知ることとなり、いろいろな活動での幸運に恵まれたことにつながっていると思っております。学生・院生の皆さん、遠慮なく先生方の研究室を訪ねてください。そこから、皆さんの未来の扉が開かれるように思います。

2010年度科学研究費補助金 採択結果

科学研究費補助金の採択結果

科学研究費補助金は、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野で、独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とする文部科学省の研究費補助金であり、公募型研究助成制度としては国内で最大規模の制度です。本学でも科学研究費補助金獲得に向けた様々な取り組みをしており、2010年度は継続課題8件の他、新規に9件の研究課題が採択されました。

Table with 6 columns: 所属, 職位, 研究代表者, 区分, 研究種目, 研究課題. Lists various research projects and their funding details.

2010年度共同研究費 配分状況

本学では、本学の教育研究水準の向上に貢献するもので個人研究費では行おうことのできない研究を専任教員が一人若しくは共同(学外研究者含む)で行う研究計画に対して共同研究費を配分しています。2010年度は、学長奨励研究、若手奨励研究(講師・助教、助手が研究代表者になり単独または学内外の若手研究者と共同で行なう研究)、一般研究(新任教員枠を含む)について公募、審査を行い、下記の研究課題に研究費を配分しました。

また、5月11日～28日に「看護・社会福祉・リハビリテーション合同研究発表会」を本学で開催し、2009年度に共同研究費の配分を受けた全ての研究課題のポスター発表を行いました。

Table with 5 columns: 種別, 所属, 職位, 研究代表者, 研究課題. Lists research projects categorized by type (e.g., 学長奨励研究, 若手奨励研究, 一般研究, 新任教員枠).



ユニヴァーサルデザインとは...

年齢や性別、能力、言語など、それぞれが持つ違いを認め合って、すべての人が暮らしやすい街、モノ、環境などを作っているこうとする考え方がです。



ステージイベント/店村真知子 准教授

パネルトーク/佐々木敏明 教授(左)

「第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010 in 浜松」 本学教員が発表・出展をしました

10月30日から11月3日まで、アクトシティ浜松において「人と地球の未来のために」というテーマでユニヴァーサルデザイン会議が開催されました。

本学からは、浜松ほっとコーナールにおいてリハビリテーション学部の教員3名が研究発表を行いました。ステージイベントとしては社会福祉学部店村真知子准教授が「音楽療法、読み聞かせの実演」を行いました。パネルトーク



出展ブース/鈴木達也 助教

出展ブース/藤原百合 教授(右)

出展ブース/前野竜太郎 助教

●研究発表内容

企業と共同開発をした高さ調節可能なレイズドベッド「だれでも花壇」

リハビリテーション学部作業療法専攻 鈴木達也 助教

医学・語学産業における舌運動の視覚的フィードバック訓練装置の試作開発

リハビリテーション学部言語聴覚専攻 藤原百合 教授

テレビ会議システムを用いた遠隔地介助技術指導における電子マーカーの試用

リハビリテーション学部理学療法専攻 前野竜太郎 助教



地域貢献研究事業2010年度報告会を行いました

保健福祉実践開発研究センターでは「保健医療福祉分野に係る全ての人たちの共同事業研究」を推進するため、「地域貢献研究事業費」を配分しています。初年度となる2009年度は「静岡県内の保健医療福祉の実践現場と共同で行い、

県内の保健医療福祉の向上につながる研究事業」の公募を行い、9件の研究事業が採択され、実施されました。11月6日(土)には聖灯祭ホームカミングデーが同日開催される中、当研究事業の報告会をポスター形式で行い、お越しになった方々に研究成果や実践の様子を披露しました。

2010年度の地域貢献研究事業費は、12件の共同研究事業に配分しております。(一覧はP5研究助成の頁をご参照ください。)この制度を活用し、今後も周辺地域の臨床・福祉の現場スタッフとの連携協働をより一層推進していきます。



博士論文発表会



左から杉野さん・指導教授の川上教授・金さん

大学院博士後期課程 保健科学研究科において 初めて博士が誕生しました

9月22日、春semester卒業式修了式において、大学院博士後期課程保健科学研究科の大学院生2名に博士(社会福祉学)の学位が授与されました。修了式に先駆け、9月15日に博士論文発表会が開催され、50数名の学内外関係者に研究成果の発表が行われました。学位が授与されたのは、金 寿連さん(博士論文テーマ「若年層低学歴者の社会的地位獲得に関する研究―日本における1955〜2006年若年層中卒者の就労実態に関する研究を基礎にして―」)と杉野 緑さん(博士論文テーマ「工業都市K市における現業労働者のライフヒストリーと生活実態の研究」)の2名で、指導教授はいずれも川上昌子教授です。

保健福祉実践開発研究センター 公開講座実施報告

本学では地域貢献を大学の教育・研究に次ぐ使命として位置づけその活動の一つとして、地域の方一般の方を対象とした「市民公開講座」専門職の方を対象とした「公開セミナー」を継続的に開催しております。

市民公開講座

ボランティア基礎講座

5月29日、中学生・高校生対象の市民公開講座「ボランティア基礎講座」を実施しました。この講座は、社会福祉学部の教員と学生スタッフが講師となり、ボランティア参加に関心はあるけれど不安もあるという、地域の中学生・高校生の方々に、ボランティア参加へのきっかけを得ていただくことを目的として

の交流会はアットホームな雰囲気の中行われ、ボランティアについて話す良い機会となりました。参加者の皆さんは、本学発行の「ボランティアパスポート」に活動内容、感想を書き込み、振り返りを行いました。「学生さんたちの話を聞いて、ボランティアを通していろいろなことが学べるのだな」と思った。「ボランティアは人に頼ま



交流会の様子

がん向き「地域づくり」

7月18日、緩和ケア普及のための地域プロジェクト(OPTIM)主催・本学保健福祉実践開発研究センター共催による市民公開講座「がん向き地域づくり」をアクトシティ浜松コングレスセンターにて開催しました。

講師にベストセラー「病院で死ぬという」の著者である山崎章郎氏を迎えました。どうしてがんになるのか、そして予防はどうか、といった重要な知識や緩和ケアについてのお話、山崎氏が院長であるケアタウン小平クリニックでの活動内容などについてお話を



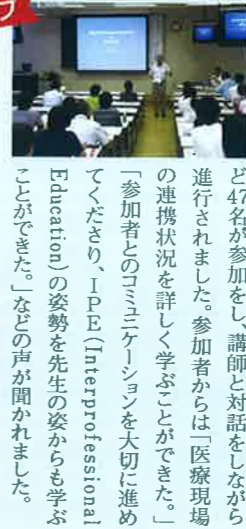
同いきました。

公開セミナー

IPW(専門職連携)講座

「多専門職のリーダーシップ教育としての連携教育―イギリスでの実践から―」

7月31日、保健医療福祉の専門職に就く方を対象に公開セミナー「IPW(専門職連携)講座「多専門職のリーダーシップ教育としての連携教育―イギリスでの実践から―」を開催しました。講師には、英国ウエストミンスター大学よりヒューバー教授を招き、英国をはじめとする海外の事例を通して、効果的で効率の良い職場管理ならびに質の高い医療福祉サービスを提供するためのマネジメントの基礎について通訳を交えお話しいただきました。



講座は保健医療福祉の専門職者や本学教職員、大学院生など47名が参加をし、講師と対話をしながら進行されました。参加者からは「医療現場の連携状況を詳しく学ぶことができた。」「参加者とのコミュニケーションを大切に促してください。」「IPW(Interprofessional Education)の姿勢を先生の姿からも学ぶことができた。」などの声が聞かれました。

受講者募集中の公開セミナー 『リーダーシップのたまご：グループワークを通して』

リーダーシップとは、管理職、指導者といった「立場にある」人だけのものではありません。何かを変えようという意識と第一歩を踏み出すことにリーダーシップの本質があるように思えてなりません。グループでの活動を通してあなたの中に存在するリーダーシップのタネに気づいてみませんか。リーダーシップの旅立ちです。

2010年度地域貢献研究事業費 採択事業一覧

Table with 5 columns: 所属 (Department), 職位 (Position), 研究代表者 (Research Representative), 研究課題 (Research Topic), 対象地域 (Target Area). It lists various research projects and their locations.

保健福祉実践開発研究センターの事業のひとつとして、「保健医療福祉分野に係るすべての人たちの共同事業・研究」を推進し、共同で課題解決を図るために、地域貢献を重視した共同研究事業計画に研究事業費を配分しています。2010年度は、下記11件の研究課題に配分しました。



## 新任教員の紹介

①出身校 ②前任校・前勤務先 ③専門分野

### 看護学部



なりまつ みえ  
成松 美枝 准教授

①静岡大学大学院教育学研究科修士課程、東京大学大学院教育学研究科修士課程②愛知東邦大学③教育制度論、教育学

「保健・医療・福祉の大学は初めてで、すべてが未知の世界です。教員をめざす学生さんたちの「夢実現」の一助となるよう、日々の確かな歩みを大切に共に学んでいきたいと思っています。よろしくお祈りします。」

### リハビリテーション学部



はらだ ひろみ  
原田 浩美 教授

①国立身体障害者リハビリテーション学院、福岡教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修士課程、金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻修士後期課程②金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科③高次脳機能障害学、聴覚障害乳幼児の言語指導法

「経験や知識の不足、技術の未熟さを補えるものは誠実さです。常に患者様やその御家族の思いに寄り添いながら、できる限りの努力を尽くせるSTになってほしいと思います。」

### リハビリテーション学部



なかじま ともみ  
中島 ともみ 助教

①名古屋大学医療技術短期大学部②日本医療福祉専門学校③身体障害一般(特に急性期から回復期)

「ここでの出会いに素直に感謝できる事は幸せだと思っています。私にできる精一杯で、これから先に成長する皆さんを援助して行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。」

## 2010年度 国家試験日程

	試験日	合格発表日
看護師	2月20日(日)	3月25日(金)
保健師	2月18日(金)	3月25日(金)
助産師	2月17日(木)	3月25日(金)
社会福祉士	1月30日(日)	3月15日(火)
精神保健福祉士	1月29日(土) 30日(日)	3月15日(火)
理学療法士	2月27日(日)	3月31日(木)
作業療法士	2月27日(日)	3月31日(木)
言語聴覚士	2月19日(土)	3月28日(月)

## クリスマスツリーが飾られました

毎年11月下旬からクリスマスにかけて、学内にクリスマスツリーやリースが飾られます。ツリーの飾り付けやリース作りは有志の学生たちが行いました。本学でのクリスマス礼拝は12月22日(水)に行います。



1号館玄関に飾られた巨大ツリーには本物のリンゴが付いています

学生たちが手作りしたリースは大学のいたる所に飾られています

## 訃報

社会福祉学部教授の林玉子先生が、かねてより病氣療養中のごとく2010年8月4日にご逝去されました。林先生は2001年4月に本学に教授として就任され、生涯を通じて障がい者の物的環境に関する研究や高齢者の生活環境の研究に情熱を注いでおられました。

社会福祉学部の中核を担い、学生並びに教職員から厚い信頼を得て活躍されていた先生を失い残念でなりません。林先生に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 今年度の卒業式・卒業パーティは 3月14日(月)に行います

「2010年度卒業式・修了式」はアクティビティ浜松中ホールにて、「卒業パーティ」はグランドホテル浜松にて、2011年3月14日(月)に行います。卒業年次の保護者の皆様には追ってご案内状をお送りいたします。多くの保護者の方々のご出席をお待ちしております。

「子供たちはどんな環境で学んでいるの? 実習はどんなことをするの? 単位は取れているの? 就職は大丈夫? 支援体制は充実しているの?」普段行けない場所だからこそ保護者の疑問や不安は募るものです。本学では保護者と大学とのコミュニケーションを図る機会として保護者懇談会を開催しています。

ご参加いただきました保護者の方々にはアンケートにお答えいただき、ご意見やご要望を伺い翌年度の保護者懇談会にできるだけ反映させ、より有意義な会になるよう努めています。

●今年度の開催状況	●開催日	●参加者数
社会福祉学部	2010年7月10日(土)	社会福祉専攻 43組 56名 介護福祉専攻 20組 28名 こども教育福祉学科 33組 47名
リハビリテーション学部	2010年10月16日(土)	理学療法専攻 50組 66名 作業療法専攻 48組 64名 言語聴覚専攻 27組 32名
看護学部	2010年10月30日(土)	看護学科 128組164名

## 2010年度 保護者懇談会 の報告

### ●プログラム

懇談会(学科全体、学年別・専攻別)

昼食

個別相談・校舎(実習室)見学

※懇談会の形式や見学でご案内する実習室は学部ごとで異なります。



全体説明会(看護学部)



学科・専攻・学年別の懇談会(社会福祉学部)



教員作成のDVDによる学生生活の紹介(リハビリテーション学部)



保護者・教員とで談話しながらの昼食



校舎見学

### ●2011年度保護者懇談会日程(予定)

社会福祉学部	2011年 7月9日(土)
リハビリテーション学部	2011年10月15日(土)
看護学部	2011年10月29日(土)

詳細が決まり次第、ご案内状をお送りいたします。この機会にぜひご参加ください。

## 健康管理センターよりお知らせ インフルエンザ対策について

昨年度の新型インフルエンザの流行が記憶に新しいところですが、今年もインフルエンザの流行期に入りました。学生、保護者の皆様には、下記のように、ご対応をお願いします。

### 1 感染予防と健康管理

- ① 手洗い、うがいの励行
- ② 必要に応じてマスクの着用
- ③ 人混みへの外出を避ける
- ④ 咳エチケットを心がける
- ⑤ ワクチン接種(学内接種は終了しましたが、まだ医療機関で受ける事ができます。)
- ⑥ 体調異常を早く察知するために検温等の健康観察を自主的に行う

### 2 インフルエンザと診断された場合

- ① 登校せずすみやかに電話で大学に電話連絡をしてください。連絡先:053-439-1400(健康管理センターまたは教務事務センター)
- ② 学校保健安全法に基づき、「出席停止」とします。出席停止期間は医師が感染の恐れがないと認めるまでの期間です。出席停止期間は外出せず静養に努めてください。
- ③ 完治し出席を再開する際に「治癒証明書」※を教務事務センターに提出してください。※教務事務センターまたは、健康管理センターのホームページからダウンロードできます。

マスク・体温計は各自で用意してください。一人暮らしや遠距離通学の学生は、発症時どうするか家庭で打ち合わせておきましょう。